

目次

[今週号は 2022 年 11 月 4 日時点の情報を基に作成しています]

マクロ経済コラム：在庫調整は継続	1
日本株銘柄情報：テラスカイ (3915)	2
日本株銘柄情報：イー・ギャランティ (8771)	3

在庫調整は継続

笹木 義次

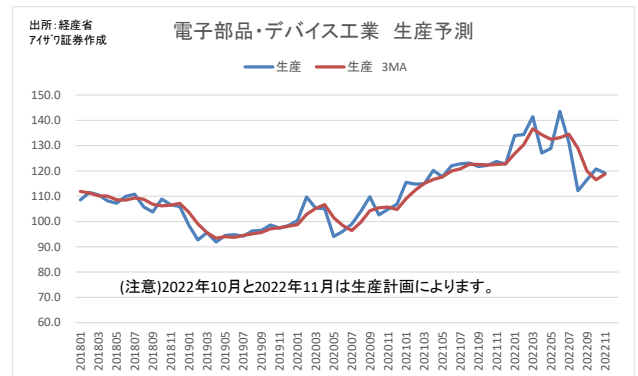
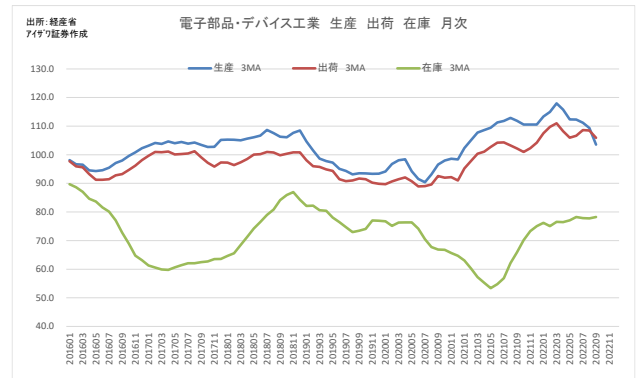
2022 年 9 月の電子部品・デバイス工業の生産指数は 101.5 となり前月比で 0.4% の増加となりました。2022 年 7 月、8 月と 2 ヶ月連続で減少していましたが 9 月の生産は下げ止まりの動きとなりました。先行きの生産計画を見ると 10 月は前月比 3.7% の増加に、11 月は 1.4% の減少となっています。均してみれば増産の計画となっています。

生産計画の実現率を見るとこれまでの傾向はマイナスとなっています。生産の実績は計画を下回る事を示しています。また、予測修正率を見るとこれもこれまでの傾向はマイナスとなっています。予測修正率がマイナスという事は、生産計画が下方に修正される事を示しています。

電子部品・デバイス工業は先行き増産の計画になっています。しかし、実現率や予測修正率が傾向としてマイナスとなっている事から、計画通りの増産は行われないと筆者は考えています。また、電子部品・デバイス工業の 9 月の在庫指数は 85.0 となり前月比で 13.9% の増加となっ

ています。在庫が増加している事から、生産調整の圧力は高まっていると見ています。

景気敏感業種のひとつである電子部品・デバイス工業が在庫調整局面となっている事から、マクロ経済全体で景気悪化懸念が高まると筆者は考えています。



テラスカイ (3915)

笹木 義次

株価指標

株価 (2022/11/4)	2,425.0 円
売買単位	100株
市場	東証プライム
時価総額	310 億円

2023年2月期上半期業績

テラスカイは、クラウドインテグレーターとして大企業向けに、クラウドコンピューティングのシステム構築を行っています。

テラスカイの2023年2月期上半期の業績は、売上高が73億3百万円と前年同期比で25.3%の増収に、営業利益は3億67百万円と前年同期比で31.5%の増益となりました。売上高の増収効果で費用の増加を吸収して、営業利益は増益となりました。売上高はソリューション事業の売上高が増収となり、全体の売上高の増収に寄与しました。費用の増加は主に子会社の先行投資費用によります。

ソリューション事業

ソリューション事業の業績は、売上高が65億65百万円と前年同期比で28.7%の増収に、セグメント利益は9億49百万円と前年同期比で26.6%の増益となりました。クラウドサービスの導入開発案件が増加した事から、売上高は増収となりました。案件数が増加し単価が上昇するなど順調に推移しました。子会社の先行投資費用を吸収して、セグメント利益は増益となりました。

製品事業

製品事業の業績は、売上高が8億19百万円と前年同期比で2.7%の増収に、セグメント利益は22百万円の損失になりました。グループウェアのmitoco(ミトコ)は前年同期比で38%の

<業績の推移>

決算期	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株利益	1株配当
2021/2	11,144	779	780	2,459	194.0	0.0
2022/2	12,578	658	661	306	24.1	0.0
2023/2計	15,645	328	346	150	11.8	0.0

単位:百万円 (1株利益、1株配当は円) 計画は会社計画によります。

<投資指標>

指標	数値
今期予想PER	206.5 倍
PBR	3.38 倍
予想配当利回り	0.00 %

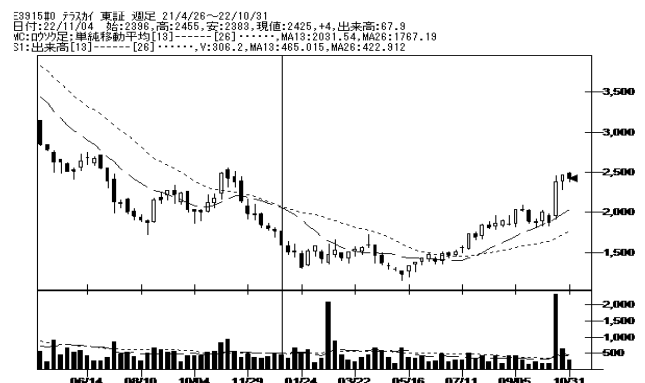
増収と順調でした。しかし、それ以外の製品が伸び悩み売上高は低い伸びとなりました。

業績上方修正

テラスカイでは、2023年2月期の営業利益計画4百万円を3億28百万へと上方修正しました。期初の想定に比べてクラウドインテグレーションが順調だったからです。

2023年2月期業績計画

テラスカイは2023年2月期の業績は、売上高が156億46百万円と前年比で24.4%の増収を、営業利益は3億28百万円と前年比で50.1%の減益を計画しています。上半期の営業利益の実績は通期計画を超過しています。2023年2月期下半期には、採用の継続、販促費用の支出を見込んでいる事から、通期の営業利益は上半期の実績を下回るものになっています。筆者はテラスカイの2023年2月期の業績は、売上高が158億円と前年比で25.6%の増収に、営業利益は4億60百万円と前年比で30.1%の減益になると予測しています。



(C) QUICK Corp. All rights reserved.

出所: AstraManager よりアイザワ証券作成

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

イー・ギャランティ (8771)

笹木 義次

株価指標

株価 (2022/11/4)	2,370.0 円
売買単位	100株
市場	東証プライム
時価総額	1,198 億円

2023年3月期上半期業績実績

イー・ギャランティは、事業会社等が保有している売上債権の未回収リスクを保証するサービスを提供しています。イー・ギャランティの2023年3月期上半期の業績は、売上高が41億50百万円と前年同期比で7.9%の増収に、営業利益は20億17百万円と前年同期比で11.8%の増益となりました。売上高の増収効果と売上総利率の改善で費用の増加を吸収して、営業利益は増益となりました。

売上高の増収は、保証債務が6188億円と前年同期比で18.2%の増加となったからです。売上総利益率の改善は倒産件数が減少したからです。費用の増加は主に人件費の増加によります。営業人員の採用を積極化しているからです。

2023年3月期上半期末の保証債務は前述の通り6188億円となりました。2022年3月期末の5822億円から366億円の増加となりました。2022年3月期下半期の倒産件数が減少しているなど、倒産件数はあまり増加しませんでした。経済環境が不確実性を高めていることから、債権保全ニーズは高まっているからです。

2023年3月期上半期の業績の実績は、会社計画を上回るものとなりました。売上高は1.2%、営業利益は1.9%、それぞれ計画を上回りました。

<業績の推移>

決算期	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株利益	1株配当
2021/3	7,194	3,088	3,108	2,004	45.1	22.0
2022/3	7,894	3,732	3,760	2,463	52.9	26.0
2023/3計	8,800	4,150	4,200	2,750	58.7	26.0

単位:百万円 (1株利益、1株配当は円) 計画は会社計画によります。

<投資指標>

指標	数値
今期予想PER	40.7 倍
PBR	5.97 倍
予想配当利回り	1.09 %

た。

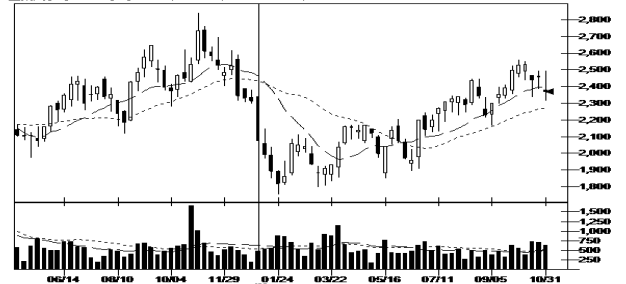
イー・ギャランティでは営業体制の強化を行っています。今後、想定される倒産件数の増加により、債権保全ニーズが増加すると見込んでいるからです。

2023年3月期業績計画

イー・ギャランティでは、2023年3月期の業績は、売上高が88億円と前年比で11.5%の増収を、営業利益は41億50百万円と前年比で11.2%の増益を計画しています。保証債務は着実に積み上げる事で増加を見込んでいます。経済情勢の悪化から倒産件数の増加を見込み、平均保証料率は下期から上昇を見込んでいます。

筆者は、イー・ギャランティの2023年3月期の業績は、売上高が91億円と前年比で15.3%の増収を、営業利益は43億円と前年比で15.2%の増益を予測しています。2023年3月期上半期の営業利益の実績が会社計画を上回っていることから、会社計画を上回ると予測しています。

3771 エー・ギャランティ 東証 週足 21/4/26-22/10/31
 日付:22/11/04 高:2380 安:2380 実:2350 現値:2370 -14 出来高:99.8
 W:1000円 移動平均線(13):2150 (26):2150 (52):2150 MA13:2387.95 MA26:2274.50
 SI:出来高(13):1150 (26):1150 V:828.6 MA13:494.677 MA26:508.886



(C) QUICK Corp. All rights reserved.

出所: AstraManager よりアイザワ証券作成

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

LINE公式アカウント
はじめました！

ベトナムを中心としたアジア情報
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa